

トモエガモ

Anas formosa Georgi

カモ目カモ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

極東にのみ生息し、世界的に数が少ない希少鳥である。石川県は日本でも有数の渡来地であること。

形態

全長40cm。雄の冬羽は頭部が淡黄色と緑色の模様をしている。胸は黄褐色に黒斑があり、肩羽の数枚が蓑羽状になっている。雌は全体が褐色で、下嘴の付け根部に淡い円形の白斑がある。雄のエクリーブス羽は雌に似る。

国内分布

冬鳥として渡来するが、局地的で数は少ない。主に関東以西で越冬する。太平洋側より日本海側に多く見られる。以前は大群が飛来したというが近年はほとんどない。

県内分布

冬鳥として渡来するが、年によって個体数の変動が激しい。片野鴨池には定期的に数十羽が渡来し、河北潟には時に2000羽を越す群が飛来することもある。その他には七尾西湾に少数が渡来する程度である。

生態

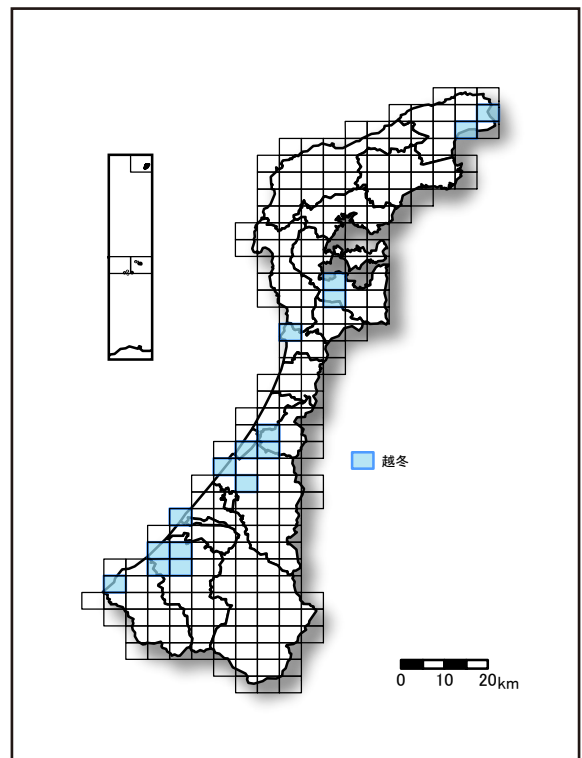
大きな群は少ないが、年によっては千羽を超える群が見られることもある。群で行動することが多い。湖沼、池、河川などで過ごす。主に植物食でイネの落穂や、草の種子を好み、水生小動物も食べる。臆病な性質で人を近づかせない。

生息地の条件

臆病な性質なので、人が近づけない広い開水面をもつ湖沼など。

生存の危機

神経質なため釣り人やマリンスポーツなどの影響を受けやすい。また、ハンターによる間接的な影響も大きい。狩猟鳥ではないが、雌はコガモとの区別が難しく、誤って狩猟される可能性もある。(A)



県内の分布